

## 平成21年度第1回墨田区次世代育成支援行動計画推進協議会議事要旨

日 時： 平成21年5月26日（火） 午前10時00分～12時00分

場 所： 101会議室（区役所庁舎10階）

- 議事内容：
- 1 委嘱状の交付、推進協議会委員長等の選任
  - 2 前期検証報告
  - 3 体制、スケジュール
  - 4 ニーズ調査報告
  - 5 策定の考え方
  - 6 その他 分科会の開催日予定、事務連絡等

### 【配布資料】

- 資料1 墨田区次世代育成支援行動計画推進協議会委員名簿
  - 資料2 墨田区次世代育成支援行動計画策定の主旨
  - 資料3 墨田区次世代育成支援行動計画推進協議会設置要綱
  - 資料4 平成19年度墨田区次世代育成支援行動計画事業評価
  - 資料5 墨田区次世代育成支援行動計画策定検討体制
  - 資料6 墨田区次世代育成支援行動計画策定スケジュール（案）
  - 資料7 墨田区次世代育成支援行動計画（案）概略図3部
  - 資料8 第2回推進協議会、第1回分科会の開催予定
- すみだ子育て・子育て応援宣言（墨田区次世代育成支援行動計画概要版）  
次世代育成支援のための調査結果報告（ニーズ調査報告書）

第1回墨田区次世代育成支援行動計画推進協議会 委員名簿

氏 名	所 属
布施 英雄	共愛館理事長
澁谷 昌史	関東学院大学准教授
野原 健治	興望館館長
長田 朋久	横川さくら保育園長
増田 理枝子	増田小児科医院長
中澤 進	すみだ幼稚園長
服部 栄	雲柱社理事長
大串 紀代子	両国子育てひろば施設長
鈴木 和美	主任児童委員
山下 洋史	男女共同参画推進会議委員長
小野内 文江	小学校連合PTA 会長
田村 亨	中学校PTA 連合会
須貝 利喜夫	青少年委員
田口 武司	文花中地区青少年育成委員会
野城 東亜子	墨田区少年団体連合会
小菅 崇行	小菅株式会社代表取締役社長
西村 孝幸	小梅保育園代表
田口 典子	公募委員
小平 多津子	公募委員
上野 悦子	公募委員
荒木 尚子	緑幼稚園長
伊藤 隆雄	緑小学校長
松本 憲一	墨田中学校長
鈴木 陽子	子育て支援担当部長
細川 保夫	福祉保健部長
坂本 康治	教育委員会事務局次長
麻場 富喜子	江東橋保育園長

事務局

子育て計画課長 岩佐一郎  
 児童・保育課長 関口芳正  
 子育て支援総合センター館長 今泉峰子  
 子育て計画課 染谷、有澤、佐藤

(事務局) 第1回墨田区次世代育成支援行動計画推進協議会を開催します。まず、冒頭に区長より挨拶をさせていただきます。

(区長) 日頃より、皆さんには子どもたちのために多大なご支援・ご協力をいただきまして、厚くお礼を申し上げます。本日は、次世代育成支援行動計画推進協議会委員委嘱状の交付をさせていただきます。次世代育成支援行動計画は平成17年度に策定しましたが、これは10年間の計画であり、平成21年度で前期5年を終了することになります。平成22年度には後期計画に入りますが、社会状況の変化もあるので、前期計画を見直し、後期計画に反映させていこうという主旨でこの推進委員会を立ち上げました。現在日本は少子化により、子どもたちをとりまく地域の状況は憂慮されています。その中でいかに子どもたちを健やかに育てるか、また親にいかに子育てを楽しんでもらうか、色々な問題があるので、それぞれの立場でご意見をいただき、計画の取りまとめをしたいと思います。ぜひ墨田らしい考え方を計画に入れていただき、素晴らしい行動計画をつくっていきたいと思います。この後は皆さんにお任せして退室させていただきます。

—区長退室—

(事務局) 事務局にて引き続き進行します。まず、この協議会は公開が原則となっていますが、本日の傍聴申し込みは0であったことを報告します。続いて自己紹介をお願いします。

—出席委員全員が自己紹介—

(事務局) では、本題に入ります。まず会長の選任を互選をお願いします。

(委員) 児童福祉で長い経験のある布施委員はいかがでしょうか。

(一同) 賛成です。

(事務局) では、会長を布施委員をお願いします。

(会長) 前期から引き続き会長を務めます。まず、副会長を指名します。今回は区民か区の関係者の中から、専門の方にお願いしたいと思います。大学教員であり、民間の様々な子どもの問題をとりあげている団体の研究員である澁谷委員を指名します。これまでの経緯を継承しながらご指導いただきたいと思います。

(一同) 賛成です。

(会長) 副会長にご挨拶をお願いします。

(副会長) 地域の実情をふまえた計画づくりということですので、皆さんの意見に耳を傾けながらと思います。また、墨田区は歴史のある民間団体が地域を支えてきているので、民間団体と行政とのパートナーシップをつくることも視野に入れながら、調整・取りまとめのお手伝いをしたいと思います。

(会長) 早速計画策定にとりかかります。まず、前期計画がどのようなもので、どのような状況なのか、事務局より説明をお願いします。

(事務局) お手元の前期計画の概要版について説明します。

—資料説明—

(事務局) 簡単な骨格の説明でしたので、後ほど中身をご覧くださいと思います。次に資料4と、国の指導に基づいてつくられた子育て支援サービスの目標事業量・保育園等の保育サービスの目標事業量の説明をします。

—資料説明—

(事務局) 後期計画を策定するために、前期計画がどこまで進んだのかという検証をしているところですので、今後、随時報告していきます。

(会 長) 前期計画は国の方針を忠実に受け止めたものです。立ち上げた 163 の事業のほとんどは区が行う事業ですが、計画は区だけでなく企業や区民も取り組むべきだという規定があります。前期計画には区民の取り組みがなどのようになされたのかという部分がないので、後期計画では区民や団体などの地域を含めて、みんなが取り組むためにはどうしたら良いのかという方向性を明確にしたいと思います。次に、計画策定の進め方について、事務局に説明をお願いします。

(事務局) 資料 5 と資料 6 の説明をします。

—資料説明—

(会 長) 実質的な内容の審議は、分科会とワーキンググループの両方でしていき、お互いの考え方をやり取りしながら詰めていきます。計画策定にあたってニーズ調査をしたものが資料ですが、この集計結果をこれから分析して、要望に対する取り組みの検討を進めていきたいと思います。行動計画の主旨、前期計画について、後期の予定等の説明がされましたが、ここで皆さんに質問や希望などを一言ずつお願いします。

(委 員) 若者が墨田区でどう育っていくのか色々聞いて学びたいです。学童や中高生、20 歳前後の若者まで視野を広げて、彼らが大人になっていく上での課題を洗い出し、盛り込みたいと思います。

(委 員) 関心事は少子化対策です。前期は子どもが生まれた後の施策が中心でしたが、結婚し子どもを生むために、ポジティブな情報などを後期計画で発信できたらと思います。

(委 員) 中学生は、母親、父親になる予備群です。自分たちが親になる時には色々なサービスがあるということを知ってほしいです。現在の親たちも知らない方が多いので、伝えていけたらと思います。

(委 員) 小学校でとても良い子だったのに中学に上がると悪くなってしまう子がいることと、障害児を持った母親が働こうと思っても子どもを受け入れてくれる場所がないことが関心事です。

(委 員) 墨田区で子育てしたい、というまちにするには、どうしたら良いか考えていきたいです。また、前期計画はあまり区民に浸透しなかったなので、後期ではつくったものを浸透させたいです。

(委 員) 自分を否定する子が多いので、何かの体験を通じて自分を肯定できるような場を与えたいです。また、協議会と私たちの組織で話し合いの場がもてたら良いと思います。

(委 員) 小さな頃、道を歩いているとおじさんが何かくれたり、工場に入れてくれたりしたことが思い出に残っています。今の企業も子どもと関わってほしいです。一部の企業では社会体験を始めており、従業員の子どもや特定の学校の子どもを受け入れています。受け入れ範囲がもっと拡大していくと良いと思います。

(委 員) サービスの対象は子どもと親だと思います。親の多様なニーズに応えつつ、子どもたちの視点を汲み取って、計画に反映させられないかと思います。また、色々なサービスや制度の良いところや偏りを話していき、新しい役割分担などをつくってほしいです。

(委 員) 赤ちゃんはかわいいという気持ちを広めていくことで、少子化対策につながればと思

います。墨田区には下町文化がまだあるので、人と人が関われる場をつくっていただけらと思います。就労していない母親が、子育てに集中できる時間をつくるのも大切だと思います。子育て出前相談や、幼稚園での預かり保育が充実すると良いと思います。

(委員) 公立保育園が民営化された際の引継ぎは、とても大変で辛いものでした。民営化という選択はどこまで良かったのか、区としては今後もやっていくのかが関心事です。また、民営化されたら病児保育をしてほしいという声もありますが、子どもが病気になった時には休めるような社会というのが本当ではないかと思います。経済の悪化により、そんな余力のない企業をサポートするのが行政の役割ではないのかと思います。また、学童クラブは2・3年生からはほとんど入れません。どうしてこのようになってしまったのかと思います。

(委員) 情報を得られない人をどうするのか考えたいです。3、4か月健診に来ない人はほとんどいないので、その機会を活用すると良いと思います。また、ボランティアなどの区民の力をもっと信頼してほしいです。知恵を与えたり、後押しをしていただけると嬉しいです。活動の始め方などのヒントがあれば、区民がもっと参加できるのではないかと思います。

(委員) 幼稚園を墨田区内で探した際、全く情報がなく、口コミに頼るしかありませんでした。結果、アレルギーに対応してもらえる幼稚園ということで、区外の幼稚園に入れました。墨田区にもアレルギー対応の幼稚園はあったのかもしれませんが、情報がありませんでした。学校選択制にしても細かな情報が手に入らないので、このことを母親の声として訴えていきたいです。

(委員) ずっと墨田で暮らしたいと思えるようなまちになったら良いと思います。下町のよさを地域力として子育てに活かせると良いです。病児保育にも興味があります。安心して任せられる保育体制ができると良いです。

(委員) 愛情を持って子育てできる親にしていく青少年教育が必要です。また、少しずれると虐待してしまう危険性のある親もたくさんいるので、阻止したいと思います。子どもが安心できる場所をたくさんつくりたいです。

(委員) 前期計画でたくさんの事業ができていますが、現場ではどこまでやっても足りないと言われます。要求にどこまで対応すべきかというバランスと、情報の伝え方を考えていかなければならないと思います。

(会長) ここまでのお話を聞いて、副会長からは何かご意見はありますか。

(副会長) 地域の力と愛着を感じました。人と社会をつなぐところを見直す中で、子どもたちが安心して、自信を持てるような環境の必要性を感じました。保護が必要な子どもについて補足すると、思春期・青年期のサービスが少ないですが、子どもを18歳で区切らずに25から30歳位までサービスを付けていくなど、墨田区で大人になっていくことを支えるプランがあると良いと思います。また、制度が変わってきているので、国で具体的な形になっていない制度について区で手を打つのは難しいですが、制度の流れを勉強しながらやっていきたいです。

(会長) 皆さんから一言ずついただきました。公募委員からも厳しい意見がなされてありがたいです。どこまで解決が可能なのか、詰めていきたいと思います。皆さんには周辺で起っていることをここへ提示すると同時に、行動計画等を周辺の人に伝えていただき

たいです。さて、計画策定を具体的に進めるためには分科会から出された意見と、区で構成するワーキンググループで検討されたものを突き合わせていくことになりませんが、子どもの問題は大変幅広いので、分科会を2つに分けました。便宜上、小学校入学までの乳幼児と、小学生から上のグループに分けます。皆さんにはどちらかに所属していただきますが、共通の問題もあるので、場合によってはもう一方の分科会に行ってもらうことがあります。では、分科会会長を指名します。乳幼児の分科会は長田委員に、小学生より上の分科会は野原委員に会長をお願いします。それから、皆さんがどちらに所属するのかが案が出ており、名簿に印が付いています。必要に応じて行政の各部の担当の方にもお入りいただきます。このような仕組みで進めますが、よろしいでしょうか。

(一 同) 賛成です。

(会 長) 分科会等では積極的に意見を出していただきたいです。また、ある事柄について意見をまとめてくださいということもあると思いますが、ご協力をお願いします。色々な希望を形にしてこそ策定となります。課題はたくさんあるので、出していきたいです。事務局からは何かありますか。

(事務局) 資料7は、この委員会の前任である企画委員の主要メンバーが作成しました。行政、地域、企業の3枚からなり、横軸に子どもの成長過程、縦軸にテーマを置き、その中に施策がどのような形であるのかという資料です。検討の指標としていただければと思います。

(会 長) これを参考に課題の検討を進めます。さらに、分科会は年間2~3回となっていますが、それはワーキンググループとのすり合わせのためのまとめとらえていただきたいです。様々な課題についてもっと深く検討しないといけないので、この回数で終わりだとは考えないでいただきたいです。他にもワークショップ的な取り組みもしようと思っています。公式スケジュールにはありませんが、ご了解ください。次に、次回の予定について事務局に説明をお願いします。

(事務局) 資料8をご覧ください。この協議会の第2回は、中間の報告がまとまる頃で、目安としては10月頃です。また、第1回の分科会は、6月29日(月)の午後2時から4時まで、乳幼児期分科会は81会議室を、児童・青年期分科会は82会議室を押さえてありますが、この日程でよろしいでしょうか。

(会 長) 都合の悪い方がいなければ確定します。それぞれの分科会長のもとで、これからの進め方をご検討いただきたいと思います。以上ですが、最後に子育て支援部長にご挨拶をいただきます。

(委 員) お忙しいところお集まりいただき、また、熱心にご意見を頂戴し、お礼を申し上げます。これから子育て支援のシステムがどう変わっていくのか、情報収集をしながら、時代と地域にあった計画をつくっていきたいと思います。以上です。

(会 長) 閉会します。